

Paris Diderot 大学での滞在を終えて

理学系研究科物理学専攻 博士課程 2年 富田圭祐

ALPS の海外派遣プログラムを利用して、2018 年の 1 月末から 3 月末までフランスの Paris Diderot 大学に滞在した。

今回の滞在では Spectroscopie de QUAsi-Particules (SQUAP) グループに加わり鉄系超伝導体の Raman 散乱分光実験を行った。2 ヶ月間という短期間ではあったが、ノッチフィルターを用いた光学系を一から組み上げ、一定の実験成果を得ることができた。サポートしてくださった SQUAP の皆様、特に Yann Gallais 教授に深く感謝する。

私が渡航した時期は折り悪くセーヌ川の水位上昇と重なり、幾つかの電車が止まっていたのであるが、幸いにも重大な影響を受けることはなかった。さらには 2 月 6 日にはめったに雪がつもらないパリにおいて 12cm もの雪が積もった。10cm 以上の雪が積もるのはなんと 31 年ぶりだそうで、なんともものすごい時期に滞在したものである。このようなときでもパリの人々は焦ることなく悠然としていたのが印象的であった。



雪に覆われたヴェルサイユ宮殿の庭園